

2017.10.30

InterRisk Thai Flood Report <2017 No.10>

タイの洪水関連情報

現在の状況

- ✓ タイ気象局 (Thai Meteorological Department) によると、タイ全土における 2017 年 1 月以来の降雨量は約 1,700mm に達しており、年間平均降雨量の 1,572mm を超えています。タイ国内の多くの地域、特に北部、北東部の河川沿いの地域や県において洪水が発生しています。
- ✓ 現在、一部の主要ダムは警戒水位に達しており、Pasak ダム、Kwae Noi ダムはほぼ貯水容量に達しています。
- ✓ Chao Phraya ダム、Pasak ダムからの放水量は増加しており、Chao Phraya 川下流域の Nonthaburi 県、Pathumthani 県、Ayutthaya 県では水位の上昇による洪水が発生しています。さらに、遊水地の水量は最大貯水量の 95% に達しており、今後の状況を注視する必要があります。

政府組織の対応

- ✓ Chao Phraya ダム上流の大雨に伴って同ダムの放水量が 2,600 m³/sec から 2,700 m³/sec に増加しており、今週中は継続される見込みです。放水量の増加によって Chao Phraya ダム下流の水位が一時的に 20~25cm 上昇しています。
- ✓ タイ王国農業・協同組合省は南部で予想される洪水に備えるよう王室灌漑局に指示を出しました。
- ✓ タイ気象局によれば、今後タイ北部及び北東部の降雨量は減少傾向にあり、Chao Phraya ダムにおける放水量が緩和される可能性があります。

洪水発生状況

先週公表された洪水に関する主な情報は以下の通りです。

- 10/20 : Nakhon Sawan 県において Chao Phraya 川の堤防補強緊急工事を実施
- 10/22 : Chao Phraya ダムの放水により Pathumthani 県の川沿いの集落で洪水が発生
- 10/23 : Chao Phraya 川上流域の洪水緩和のため、Chao Phraya ダムの放水量が 2,700 m³/sec に増加
- 10/24 : Doi Inthanon での大雨により Chiang Mai 県の多くの地域で鉄砲水が発生
- 10/24 : Chao Phraya 川の水位が 40~60cm 上昇したことにより、Nonthaburi 県の Pak Kred で洪水が発生
- 10/24 : Jao Jed 水門の損傷により Ayutthaya 県の Sena 地方で洪水が発生
- 10/24 : Nonthaburi 県の Bang Kwang prison 周辺で Chao Phraya 川の洪水が発生

Nonthaburi で発生している洪水の状況

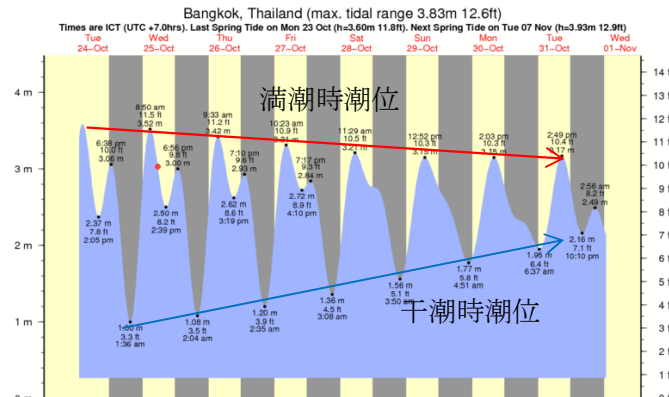
Chao Phraya ダムからの放水量が増加したことにより、Nonthaburi 県で洪水が発生しています。Chao Phraya 川近くのいくつかの建物は 30~40cm 浸水しており、現在 100 世帯ほどに影響が出ています。また、一部の道路は冠水により通行止めとなっています。



Ref: https://www.khaosod.co.th/special-stories/news_589590
https://www.thairath.co.th/content/1106785#cxrecs_s

バンコク周辺の潮位の状況

タイ気象局によれば、現在、満潮時の潮位は減少の局面を迎えています。満潮時潮位のピークとなった 10/8 以降、徐々に潮位は低下しています。一般的に河川から海への放水量は潮位が低いほど増加するため、Chao Phraya 川など主要河川から海への放水量の増加が期待できます。

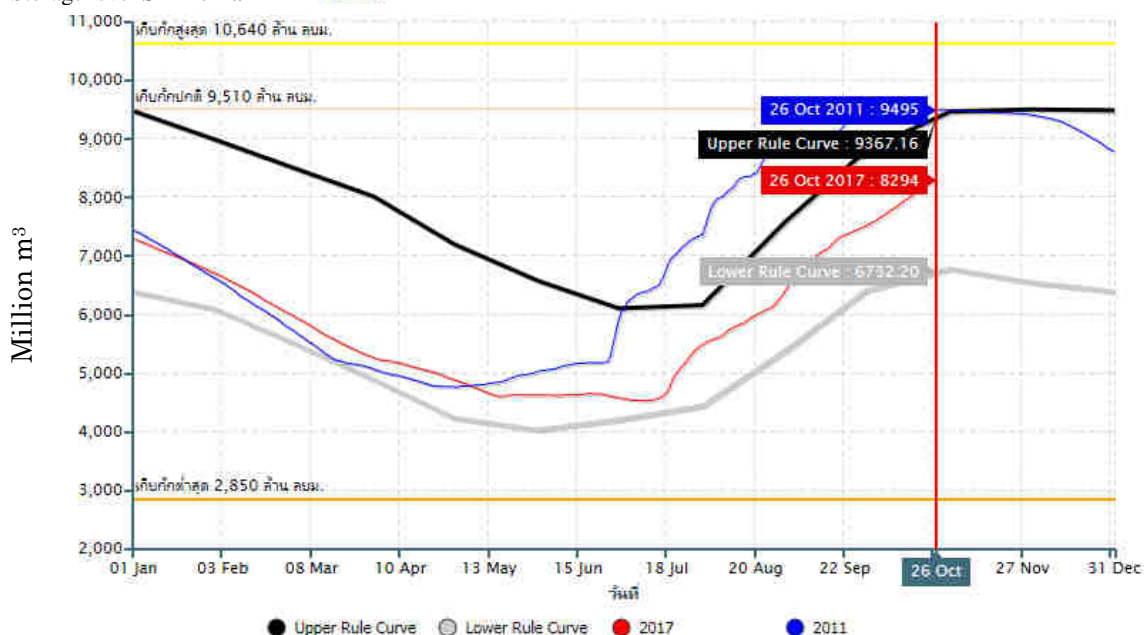


ただし、各地域の排水量は主要ダムの放水や主要河川の流量管理状況および排水能力等に依存するため、今後もダムの放水量や河川水位を確認し、洪水対策を万全に備えておくことが重要です。

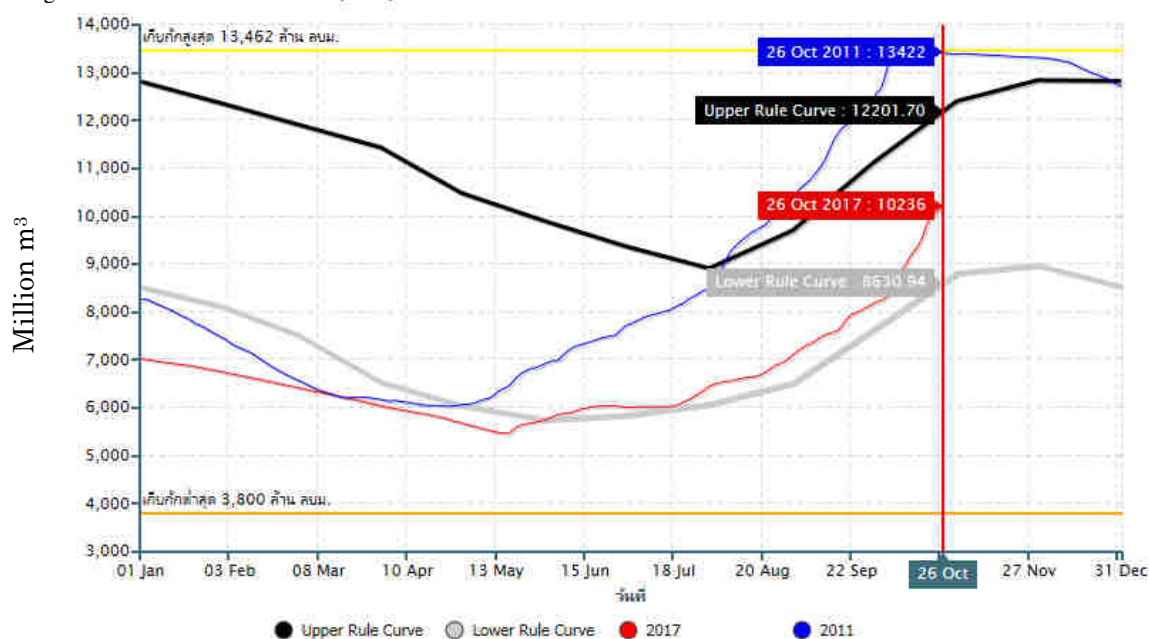
Ref: https://www.khaosod.co.th/special-stories/news_589590
https://www.thairath.co.th/content/1106785#cxrecs_s

主要ダムの貯水量

Storage level Sirikit Dam (87%)



Storage level Bhumibol Dam (76%)



Sirikit ダム、Bhumibol ダムの貯水量はいずれも増加していますが、2011 年の同時期における貯水量には達しておらず、貯水容量に対してまだ余裕のある状況です。

主要ダムの貯水量

Storage level Pasak Dam (98%)



Storage level Kwa Noi Dam (104%)



Pasak ダム、Kwa Noi ダム共にほぼ貯水容量に達しています。2011 年との比較では、Pasak ダムは当時の水位を下回っていますが、Kwa Noi ダムは当時の水位を上回っています。いずれのダムもこれ以上の貯水量は管理できないため、下流域においては河川水位に注意が必要です。

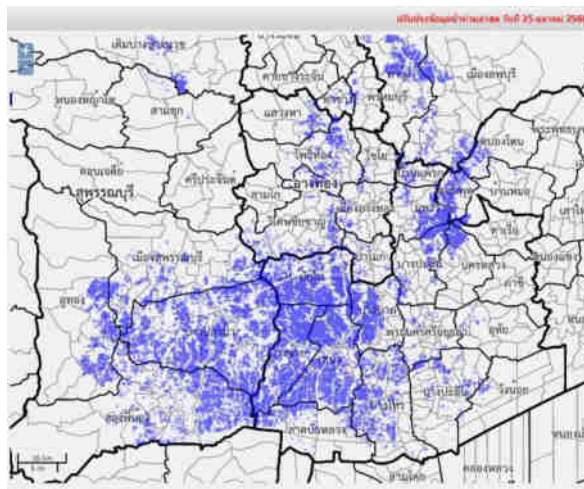
Pasak ダムからの放水量が増加

10/25 に Pasak ダムからの放水量が 2,500 万 m^3/sec から 3,000 万 m^3/sec に増加しました。Chao Phraya ダムからの放水量も増加していることから、Chao Phraya 川の水位が 20~30cm 上昇することが見込まれます。Chao Phraya 川に隣接する地域は河川水位に注意が必要です。

Ref: https://www.khaosod.co.th/around-thailand/news_591666

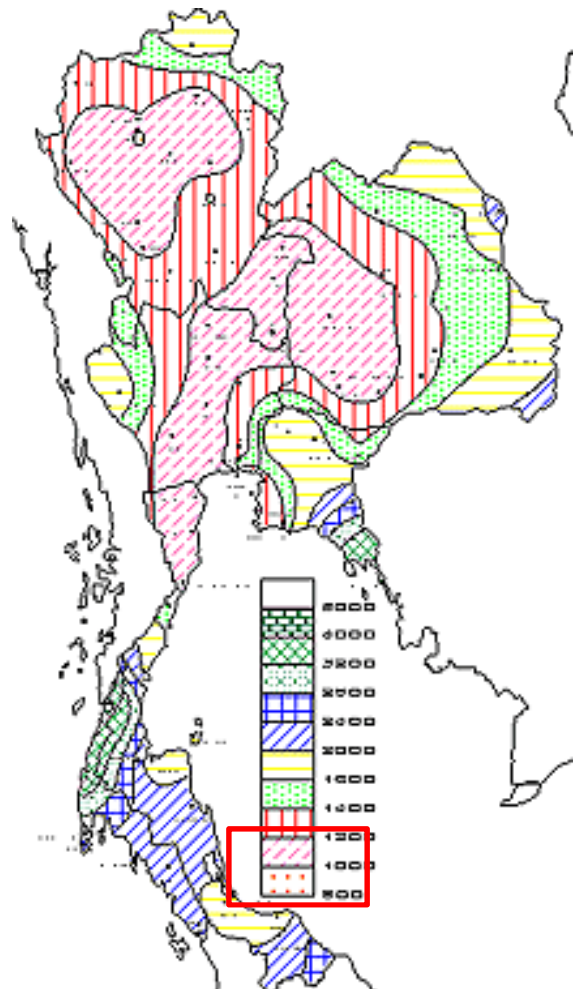
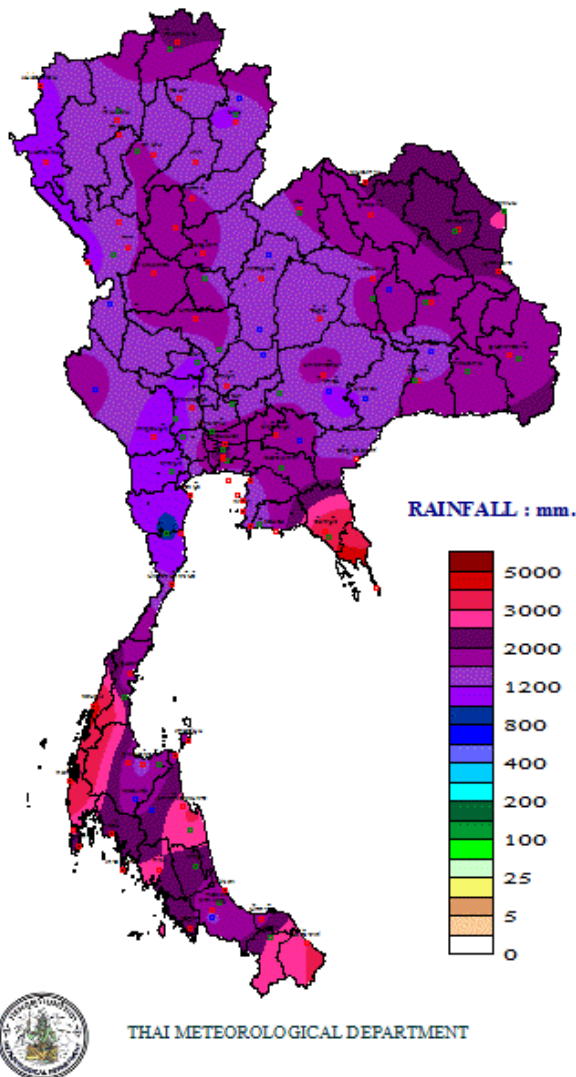
遊水地の貯水量

Ayutthaya 県及び Suphanburi 県の遊水地の貯水量が総貯水量（130,000 万 m^3 ）の 95%に達しています。王室灌漑局は今後、遊水地の貯水を海へ放水する予定であり、標準水位に戻るまで 30~45 日を要するとのことです。



Ref: https://www.khaosod.co.th/breaking-news/news_592405
https://www.khaosod.co.th/special-stories/news_591951

2017 年の総降雨量

TOTAL RAINFALL FROM 1 JANUARY
TO 24 ตุลาคม 2017

タイ気象局によると、2017 年の総降雨量は 1 月から 10/24 現在までで 1,700mm に達し、年平均降雨量の 1,572mm を上回っています（2011 年の年間総降雨量は 1,781mm です）。現在、王室灌漑局はこれらの雨水を運河や遊水地を活用してコントロールしていますが、万が一、王室灌漑局の管理が失敗した場合、降雨量の観点では 2011 年と同様の状況となるおそれがあります。今後も洪水対策や雨水管理に万全を期す必要があります。

Ref: <https://www.facebook.com/ASEANDNA/posts/486294808055967>

<https://www.prachachat.net/general/news-59196>

<http://www.thaiwater.net/current/2016/drought59/body.html>

チャオプラヤ水系の河川水位（チャオプラヤダム上流）

Chao Phraya 川上流の水量は増加しており Yom 川と Nan 川が合流する Phichit および Chao Phraya ダム上流の Chainat 周辺では警戒水位に達しています。先月と同様 Ping 川と Wang 川の水量も増加しています。Chao Phraya ダムの放水量は $2,600 \text{ m}^3/\text{s}$ から $2,700 \text{ m}^3/\text{s}$ に増加しており、Chao Phraya 川沿いの地域は洪水に対して注意が必要です。

Water Situation in the Chao Phraya River

25th October 2017

6:00 a.m.

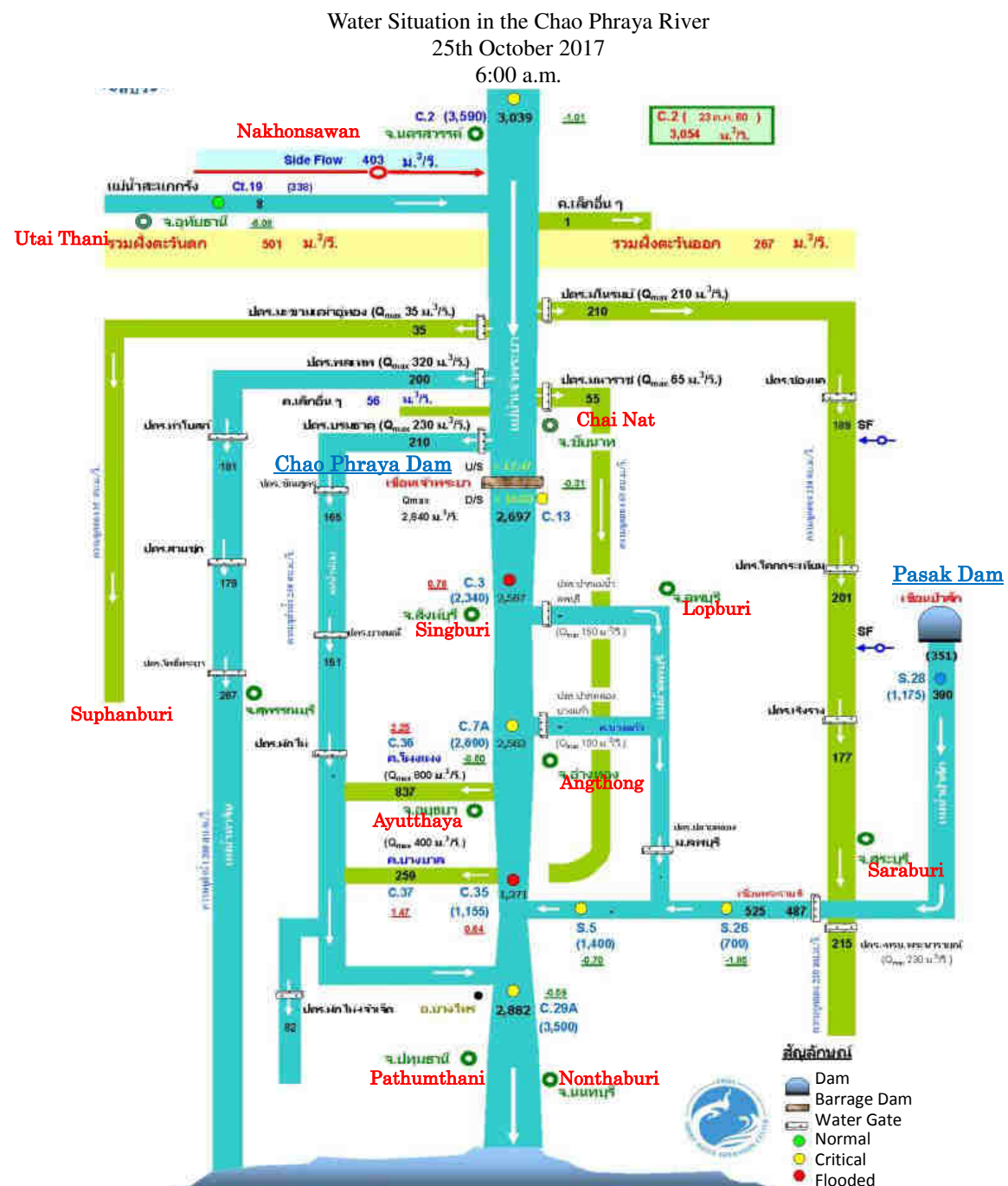


【備考】

- ① 河川の中に示されている黒文字の数値：河川流量 (m^3/sec)
- ② 上記①の近くに示されている括弧付きの数値：当該地点の限界流量（①の流量が②の流量以上となった場合、洪水が発生）
- ③ 緑文字・-（マイナス）付きの数値：堤防天端から河川水位までの距離（0 になった場合、洪水が発生）

チャオプラヤ水系の河川水位（チャオプラヤダム下流）

Chao Phraya 川上流域からの水量は増加しています。Ayutthaya 県、Singburi 県などで洪水が発生しており、その他も多く地域で警戒水位に達しています。河川水位が高い場合、当該河川への排水量が減少するため、内水氾濫が発生する可能性が高くなります。引き続き河川水位と排水状況を注視する必要があります。



【備考】

- ①河川の中に示されている黒文字の数値：河川流量（m³/sec）
- ②上記①の近くに示されている括弧付きの数値：当該地点の限界流量（①の流量が②の流量以上となった場合、洪水が発生）
- ③緑文字・－（マイナス）付きの数値：堤防天端から河川水位までの距離（0 になった場合、洪水が発生）

参照

<https://www.thairath.co.th>

<http://www.ryt9.com>

https://www.tmd.go.th/7-day_forecast.php

http://water.rid.go.th/flood/plan_new/chaophaya/Chao_low.php?cal2=25102017

http://water.rid.go.th/flood/plan_new/planup.html

http://water.rid.go.th/flood/plan_new/chaophaya/

株式会社インターリスク総研は、MS&AD インシュアランスグループに属する、リスクマネジメントに関する調査研究およびコンサルティングを行う専門会社です。タイ進出企業さま向けのコンサルティング・セミナー等についてのお問い合わせ・お申込み等はお近くの三井住友海上、あいおいニッセイ同和損保の各社営業担当までお気軽にお寄せ下さい。

お問い合わせ先

(株)インターリスク総研 総合企画部 国際業務グループ

TEL.03-5296-8920

<http://www.irric.co.jp/>

インターリスクアジアタイランドは、タイに設立された MS&AD インシュアランスグループに属するリスクマネジメント会社であり、お客様の工場・倉庫等における火災リスク調査や洪水リスク評価、ならびに交通リスク、サイバーリスク等に関する各種リスクコンサルティングサービスを提供しております。お問い合わせ・お申し込み等は、下記の弊社お問い合わせ先までお気軽にお寄せ下さい。

お問い合わせ先

InterRisk Asia(Thailand) Co., Ltd.

175 Sathorn City Tower, South Sathorn Road,Thungmahamek, Sathorn, Bangkok 10120, Thailand

TEL: +66-(0)-2679-5276

FAX: +66-(0)-2679-5278

<http://www.interriskthai.co.th/>

本誌は、マスコミ報道など公開されている情報に基づいて作成しております。

また、本誌は、読者の方々に対して企業の CSR 活動等に役立てていただくことを目的としたものであり、事案そのものに対する批評その他を意図しているものではありません。

不許複製／Copyright 株式会社インターリスク総研 2017